

タイトル「**2019年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2019年度 教養科目シラバス-サテライト科目**」  
 シラバスの詳細は以下となります。



科目名	空と宙の科学		
担当教員	尾久土 正己,中申 孝志		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	時間外	単位区分	
授業形態	講義・演習	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 実施場所：岸和田サテライト（岸和田市）		
科目名（英語表記）	Science of the Sky and the Universe		
授業の概要・ねらい	<p>私たちの頭上には、空が広がっています。その上には宇宙、「宙（そら）」が広がっています。空や宙では多様な現象が起こっていますが、いくら視界に入っても、知らなければ「見える」ことはありません。頭上に広がる「そら」を読み解くヒントを提供します。</p> <p>※記載の内容は変更することもあります。</p>		
授業計画	<p>各回とも13:00-17:00に開講します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Introduction / 人々は空と宙をどう見てきたか [ 11/2(土) ]</li> <li>2. 光と風景 [ 11/17(日) ]</li> <li>3. 星の色 [ 11/30(土) ]</li> <li>4. 空と宙を見る・伝える・楽しむ [ 12/14(土) ]</li> <li>5. 世界の空 [ 1/12(日) ]</li> <li>6. 宙の歴史 [ 2/1(土) ]</li> </ol>		
到達目標	<p>目に見える身の回りの諸現象を、地球や宇宙の時空間スケールと結び付けてとらえ、それを表現することができる。</p> <p>昔の人々の視点を理解し、現代の私たちの視点との違いや身の回りの文化の中にどのように組み込まれているかを知る。</p>		
成績評価の方法	毎回のレポートの合計		
教科書	使用しません。		
参考書・参考文献	廣瀬匠『天文の世界史』 荒木健太郎『雲を愛する技術』 など		
履修上の注意・メッセージ	<p>基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。</p>		
履修する上で必要な事項	特になし		
受講を推奨する関連科目	21世紀サイエンス論、天文学		
授業時間外学修についての指示	<p>本授業の授業計画に沿って、準備学習計30時間と復習計30時間を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。</p>		
その他連絡事項	特になし		
科目ナンバリング	C0950014J		



